

2020年7月31日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、投資関連に持ち直しの動きがみられ、生産活動が一進一退となっているものの、雇用情勢が弱含み、消費関連が低下しているほか、観光関連が悪化するなど、全体として極めて弱まっている。

生産活動は、4月の鉱工業生産指数が3か月ぶりに前年を下回った。電子部品関連は、スマホや5G関連は堅調であるが、新型コロナウイルスや米中対立の影響があり、先行き不透明感が強い。食品関連では、畜産が低下している。個人消費関連は新型コロナウイルス感染症の影響などにより低下している。投資関連では、公共工事請負金額、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数のいずれも前年を上回った。主要ホテル・旅館宿泊客数は、新型コロナウイルス感染症の影響で、鹿児島・霧島・指宿の3地区合計で、14か月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は、全ての調査対象施設で前年を下回った。

【生産活動】... 一進一退

電子部品関連は、スマホや5G関連は堅調であるが、新型コロナウイルスや米中対立の影響があり、先行き不透明感が強い。

5月の**焼酎**生産は9か月ぶりに前年を上回り、出荷量は8か月連続で前年を下回った。

4月の**かつお節**生産は、6か月ぶりに前年を下回った。

6月の**生コン**生産（出荷量）は、公共工事向けが前年を上回ったものの、民間工事向けが前年を下回り、全体では9.0%減と2か月連続で前年を下回った。

6月の**紙パルプ**生産は、2か月連続で前年を上回った。

木材関係は、製品相場がスギ、ヒノキともに前年を下回った。

【畜産関連】 ... 低下

6月の子牛の出荷頭数は前年を上回り、価格は前年を下回った。6月の肉用牛（和牛）の枝肉価格は去勢A4、A3ともに前年を下回った。5月の枝肉生産量は前年を下回った。

6月の豚肉相場は前年を上回った。5月の枝肉生産量は前年を下回った。

6月のブロイラー相場は、もも肉、むね肉ともに前年を上回った。6月の処理羽数は前年を上回った。

6月の鶏卵相場は前年を上回った。

【消費関連】 ... 低下

5月の百貨店・スーパー販売は、飲食料品が前年を上回ったものの、衣料品が前年を下回り、全体では3か月連続で前年を下回った。5月の専門量販店販売額は2か月連続で前年を上回り、7.9%増となった。足もとでは外出自粛の緩和で底打ち感がみられるものの、全体的に弱い動きが続いている。

6月の乗用車新車販売台数は、9か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は27.7%減、小型車が27.6%減となった。

6月の軽自動車は9か月連続で前年を下回った。

【観光関連】 ... 悪化

6月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、新型コロナウイルス感染症の影響で、全ての地区からの入り込みや、個人、団体客ともに落ち込み、14か月連続で前年を下回った。鹿児島地区は全ての地区からの入り込みや、個人、団体客ともに落ち込んだことなどにより、8か月連続で前年を下回った。霧島地区は全ての地区からの入り込みや、個人、団体客ともに落ち込んだことなどにより、12か月連続で前年を下回った。指宿地区は全ての地区からの入り込みや、個人、団体客ともに落ち込んだことなどにより、18か月連続で前年を下回った。

種子島・屋久島地区は個人、団体客ともに減少し、4か月連続で前年を下回った。

6月の主要観光施設入場者数は、全ての調査対象施設で前年を下回った。

【投資関連】... 持ち直しの動き

6月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を上回った。5月の民間建築工事着工は、棟数、床面積は前年を下回ったものの、工事費予定額は前年を上回った。5月の新設住宅着工戸数は、持家は前年を下回ったものの、貸家、分譲が前年を上回り、全体で24.5%増と11か月ぶりに前年を上回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年を下回り、1.1%減となった。

5月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、ほぼ前年並みとなった。

【貿易関連】... 輸出額は前年を上回った一方、輸入額は前年を下回った

5月の輸出額はパルプおよび古紙、ゴムタイヤ・チューブ、食料品および動物が前年を下回ったものの、再輸出品が前年を大幅に上回り、全体で129.6%増と3か月ぶりに前年を上回った。輸入額は、原油および粗油、穀物および同調整品が前年を下回り、全体で50.2%減と3か月連続で前年を下回った。

【雇用情勢】... 弱含み

5月の有効求人倍率は前月を0.04ポイント下回る1.11倍となった。

【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

5月の県内金融機関の貸出金残高は前年を3.5%上回った。

【企業倒産】... 倒産件数は前年を下回った

6月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が5件で前年同月（6件）を下回り、負債総額は5億7百万円で前年同月（19億44百万円）を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (Tel 099-225-7491)